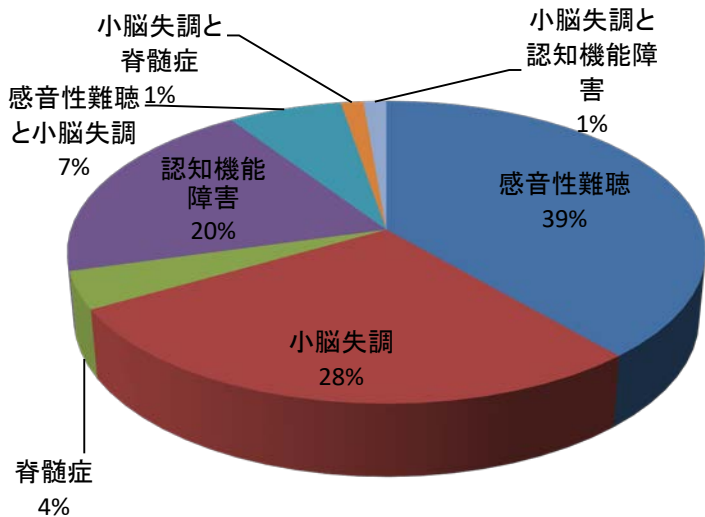
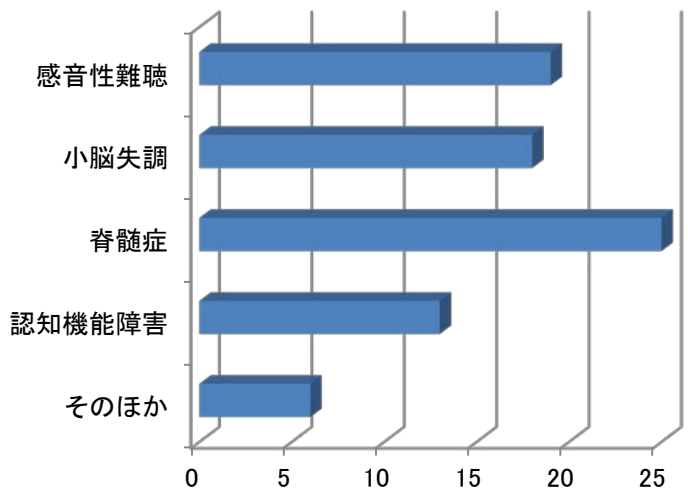


脳表ヘモジデリン沈着症の実態調査

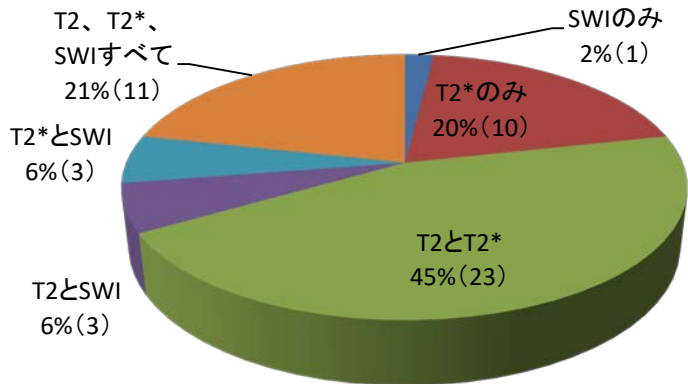
診断基準に基づく初発症状の頻度



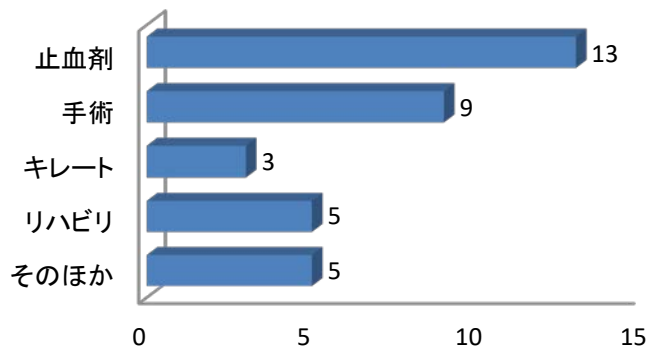
続発症状の分布



診断に用いられたMRIシーケンス



治療の有無、内容



研究分担者：高尾昌樹(埼玉医科大学国際医療センター)

【目的】

①脳表ヘモジデリン沈着症の本邦における診断・治療実態の調査②本疾患の早期発見と治療の検討

【成果】

1. 日本神経学会会員を対象としたアンケートを作成・発送を終了した。2. アンケートの結果を整理、集計し、現時点における本邦でのヘモジデリン沈着症につき、古典型、限局型、非典型に分けたうえでの疾患特性および本疾患の診断のために行われてる検査、治療内容について明らかにした。3. 本邦において本疾患に対して積極的に治療が行われていることに鑑み、次年度は治療内容を詳細に調査するととして準備を開始した。